令和３年度　　南信州広域連合地域自立支援協議会

仕事部会　活動報告

１　本年度のねらい

飯伊圏域における障がい者の雇用促進、定着安定のため、関係機関との連携をはかりつつ

以下の活動を行う。

1. 関係機関との連携を深めより地域に根差した就労支援をはかる。
2. 医療関係者の就労支援が各地で広がりつつある中で飯伊において役割を知る事により

新たなネットワークの構築を図る機会とする。

1. 企業との懇談を通して企業が求める労働者の姿を共有することを目的とした学習会、

研修会を通じて地域の障がい者雇用の促進に努める。

２　部会の開催及び取り組み内容

開催日時　年５回　　第３水曜日　　１３：３０～１５：００

部会員　　飯田公共職業安定所、飯田養護学校、飯田市福祉課、就労移行支援事業所、

就労継続支援A・B型事業所、長野県南信州地域振興局商工観光課・総務管理課、

南信工科短期大学、飯田病院・楓会・健和会病院から各就労支援担当者、

他希望者は随時参加

活動内容

三役会議　４月２１日(水)

　　　　　　第１回　　５月１９日(水)　三役承認、事業所紹介、活動計画案検討　参加者２０名

　　　　　　第２回　　７月２１日(水)　講演会「障がい者就労支援　～アプローチの考え方

発達障がいを中心として～」

飯田病院精神科デイケアＯＴ三石氏　　　参加者２４名

　　　　　　第３回　　９月１５日(水)　事例検討会「A型事業所から一般就労への支援と

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　定着支援事業について」（Zoomによるオンライン）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㈱暖　窪田氏・佐々木氏　　　　　　 参加者２５名

　　　　　　第４回　１１月１０日(水)　企業との懇談会「企業で働く障がい者を支える企業の

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　取組み」　天恵製菓株式会社・日邦電機株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　参加者１７名

　　　　　　第５回　　２月１６日(水)　気軽に座談会、県部会研修報告、飯田養護学校より

生徒の様子について、地域連携促進Coより農福連携に

ついて（Zoomによるオンライン）　　　　参加者２６名

３　成果

　　　・今年度は、オンライン（Zoom）も活用し、予定通り５回開催した。オンラインにしたことで、

　　　　普段参加のない機関からの参加もあった。

・各事業所で精神障がい者の対応に苦労しており、学習の機会が欲しいとの声があり、学習会を

企画した。学習会では、精神科OTを講師として統合失調症について講演していただいた。

また、敷居を高く感じる医療関係者に直接質問できるいい機会であったと、好評であった。

その後講師の精神科OTが事業所での研修に講師として呼ばれるなど横の繋がりができる

いい機会となった。

・事例検討では、Ａ型事業所から就職した事例について発表いただいた。本人の就労意思を尊重

し、就労の可能性を丁寧にアセスメントし、就職・定着している事例を学んだ。各事業所での

取り組みはお互いに学んでいきたいとの声もあり、次年度でも計画をしていきたい。

・企業懇談会では、障がい者雇用４名の企業と今年度初めて１名雇用した企業に参加いただいた。障害者雇用であっても、まずは最低賃金に見合う働きが必要であることなど、企業側の生の声を聞くことができた。また、企業としては、自動化が進むなか、いかに障がい者雇用を継続していくことが今後の課題とのことだった。

４　課題

・企業懇談会で初めて雇用した企業からは、障がい者のイメージがなく、どこまで働けるのか心

配であったとの話があった。まだまだ働く障がい者のイメージは浸透しておらず、部会として

圏域の企業に対してどんな働きかけができるかハローワークとも協力しながら部会全体で検

討していきたい。

　　　　・支援に際し、障害特性だけでなく、家庭環境や家族との関係など複雑なケースも多く、

１事業所だけの支援では限界がある。また各機関の役割や支援対象者がよくわからないとの

声もあるため、改めて役割確認できる機会や、活発に意見交換や課題検討できる機会を増や

し、それぞれの事業所・機関がもつ知識・専門性を活かしたこの圏域の連携の在り方を検討

を進めていきたい。

　　　　・事業所、病院、特別支援学校、企業の参加はあるが、行政からの参加はなかった。行政の

立場で圏域の就労支援ついてどう考えているか知りたいとの声もあり、次年度は参加を

促していきたい。